



Japan Association for Communication, Information and Society

情報コミュニケーション学会 第 14 回全国大会プログラム

アクティブ・ラーニングとコミュニケーション



日時 2017年3月4日(土)・5日(日)
会場 一橋大学 国立キャンパス
主催 情報コミュニケーション学会
共催 一橋大学情報基盤センター
後援 次世代大学教育研究会

情報コミュニケーション学会 第14回全国大会プログラム

「アクティブ・ラーニングとコミュニケーション」

2017年3月4日(土)・5日(日)

一橋大学 国立キャンパス

主催 情報コミュニケーション学会

共催 一橋大学情報基盤センター

後援 次世代大学教育研究会

第 14 回情報コミュニケーション学会全国大会 スケジュール

第1日目 2017年3月4日(土)

時刻	イベント		
12:30-13:00	受付 東2号館 1F ロビー		
13:00-13:10	オープニングセッション 東2号館 2F 会場 A		
13:10-14:10	<p>基調講演</p> <p>学生のキャリア形成支援と ICT</p> <p>～徳山大学 AP 事業(アクティブラーニング)と COC(Center of Community)事業を中心に～</p> <p>徳山大学学長・アクティブラーニング研究所所長 岡野 啓介氏</p>		
14:10-14:20	企業展示ご説明		
14:20-15:50	一般研究発表 セッション1		
	会場 A	会場 B	会場 C
	セッション A1 アクティブラーニング (1) 座長:徳山大学 庄司一也	セッション B1 教育と コミュニケーション 座長:園田学園女子大学 小田桐良一	セッション C1 プログラミングと データ解析 座長:尾崎拓郎 大阪教育大学
15:50-16:20	休憩		
16:20-17:20	<p>特別講演</p> <p>AI と Deep Learning のもたらす未来</p> <p>日本マイクロソフト株式会社 Azure Tech Solutions Professional 廣瀬 一海 (デプロイ王子)氏</p>		
17:30-19:00	<p>情報交換会</p> <p>東プラザ(建物が異なります) 2F</p>		

2F
ロ
ビ
ー
で
企
業
展
示

会場 A (東2号館 2F 2201 室) 会場 B (東2号館 2F 2202 室) 会場 C (東2号館 2F 2203 室)

企業展示は、それらの教室を結ぶロビースペースで行われます。

会場 A の直上(東2号館 3F 2301 室)は、休憩や打合せスペースとして開放しています。

第 14 回情報コミュニケーション学会全国大会 スケジュール

第 2 日目 2017 年 3 月 5 日(日)

時刻	イベント		2F ロビー で 企業 展示
9:30-10:00	受付 東2号館 1F ロビー		
10:00-11:30	一般研究発表 セッション 2		
	会場 B	会場 C	
	セッション B2 アクティブラーニング(2) 座長:青山学院大学 寺尾聡	セッション C2 地域と協働 座長:畿央大学 西端律子	
11:30-12:30	昼休み (12:30 までにお戻り下さい)		
12:30-13:10	大会優秀発表表彰式/情報コミュニケーション学会 総会(会場 B)		
13:10-14:40	一般研究発表 セッション 3		
	会場 B	会場 C	
	セッション B3 システムと教育 座長:江戸川大学 山路進	セッション C3 社会コミュニケーション(1) 座長:摂南大学 針尾大嗣	
14:40-15:00	休憩		
15:00-16:30	一般研究発表 セッション 4		
	会場 B	会場 C	
	セッション B4 アクティブラーニング(3) 座長:学研ホールディングス 栗山健	セッション C4 社会コミュニケーション(2) 座長:明治大学 友野典男	
16:30-16:40	クロージングセッション(会場 B) 閉会挨拶		

会場 A (東2号館 2F 2201 室) ※第 2 日目は使用しません。

会場 B (東2号館 2F 2202 室) 会場 C (東2号館 2F 2203 室)

企業展示は、それらの教室を結ぶロビースペースで行われます。

会場 A の直上(東2号館 3F 2301 室)は、休憩や打合せスペースとして開放しています。

会場案内

○全国大会会場「一橋大学 国立東キャンパス」



JR 中央線 国立駅下車

南口正面の大学通り 徒歩約 10 分

向かって左側が東キャンパスです。南口を出たら
大学通りの左側を進んで下さい。

ドラマのロケ等でよく使われるのは西キャンパス
ですので、早めに来学して見学されるのも良いか
と思います。

「ガリレオ」「梅ちゃん先生」「学校のカイダン」など

○キャンパス内案内（国立東キャンパス）



No. 33: 東2号館（全国大会会場）

No. 34: 東プラザ（情報交換会会場）

基調講演

学生のキャリア形成支援と ICT

～徳山大学 AP 事業(アクティブラーニング)と COC(Center of Community)事業を中心に～

徳山大学学長・アクティブラーニング研究所所長

岡野 啓介氏

2017年3月4日(土) 13:10-14:00

会場 A (東2号館 2F 2201教室)

学生のキャリア形成支援とICT

～徳山大学 AP 事業(アクティブラーニング)と COC (Center of Community) 事業を中心に～

2012 年に中教審から「学士課程教育の質的転換」、文部科学省から「大学改革実行プラン(大学の COC 機能強化)」との提示を受け、徳山大学では学生に主体的な学びの場を提供する「教育の質の転換」へ向けた改革を「地域課題の発見と解決」をテーマとするアクティブラーニングの導入によって実現することを目標として掲げました。徳山大学のアクティブラーニングへの取り組みや CASK (キャリア: Career Student Karte) を中心にご講演頂きます。



徳山大学学長 岡野 啓介氏

現職	徳山大学 学長／教授
最終学歴	1973 年 早稲田大学 理工学部卒業 1979 年 早稲田大学大学院 理工学研究科 博士課程修了(理学博士)
専攻	高エネルギー物理学理論・情報教育
略歴	早稲田大学理工学部・物理学科・助手 西独ジーゲン(Siegen)大学・物理学科・助手を経て 1990 年 徳山大学助教授 1999 年 教授、2009 年 学長
主著	(1) 『パウリ、物理学と哲学に関する随筆集』(翻訳)シュプリンガー東京(1998) (2) 『Stochastic Quantization』(共著)Springer Verlag(1992)

特別講演

AI と Deep Learning のもたらす未来

日本マイクロソフト株式会社

Azure Tech Solutions Professional

廣瀬 一海 (デプロイ王子)氏

2017年3月4日 (土) 16:20-17:20

会場 A (東2号館 2F 2201教室)

AI と Deep Learning のもたらす未来



日本マイクロソフト株式会社 廣瀬 一海 氏

廣瀬一海（ひろせ かずみ）

愛称「デプロイ王子」。8 歳にワープロに興味を持った事がきっかけで、10 歳からパソコンを始める。1997 年から OSS や Linux を活用し、主にインターネット向けサーバシステムの設計や無停止設計、分散設計と構築などを担当。日本医師会総合政策研究機構（日医総研）客員研究員、日本コンピューター係長、pnop CTO、アイレット クラウドパック事業部 シニアソリューションアーキテクトを経て、2015 年 12 月から日本マイクロソフト株式会社にて、クラウドソリューションアーキテクト、同年 6 月からは Azure テクノロジースペシャリストを担当。2012 年／2013 年／2014 年／2015 年に MVP Award Program Microsoft Azure 受賞。業務の傍ら積極的な講演や Web メディアでの執筆や技術解説活動も行う。経済産業省 ブロックチェーン技術を活用したシステムの評価軸整備検討委員会 委員。

一般研究発表

3月4日(土) 14:20-15:50 一般研究発表 セッション1

A1 アクティブラーニング (1)

会場 A(東2号館 2F 2201 教室) 座長: 庄司一也(徳山大学)

4日(土) 14:20-15:50

A1-1 実践から見るアクティブ・ラーニング型授業の評価方法

○庄司一也(徳山大学)

A1-2 世代間交流と ICT 活用を取り入れた協働学習の試み

○杉原麻美(淑徳大学)

A1-3 教職科目におけるインストラクショナルデザインを用いたアクティブラーニングの展開(1) ~ARCS モデルに基づく学習意欲を引き出す授業の取り込みと手だて~

○藤本光司(芦屋大学)

高橋麻司(芦屋大学・経営教育学部 4年)

木下大和(芦屋大学・経営教育学部 3年)

若杉祥太(芦屋大学)

A1-4 教職科目におけるインストラクショナルデザインを用いたアクティブラーニングの展開(2) ~技術・情報教員養成コースの学生を対象とした認識調査~

◎高橋麻司(芦屋大学・経営教育学部 4年)

木下大和(芦屋大学・経営教育学部 3年)

若杉祥太(芦屋大学)

藤本光司(芦屋大学)

B1 教育とコミュニケーション

会場 B(東2号館 2F 2202 教室) 座長: 小田桐良一(園田学園女子大学)

4日(土) 14:20-15:50

B1-1 シャトル型テキストコミュニケーションツールにおいて受講生が作成したメッセージに含まれる非言語に関する質的分析の試み

○三池 克明(佐久大学信州短期大学部)

斐品 正照(東京国際大学)

B1-2 コンピュータ実習をさり気なく支援するシステムのプロトタイピング

○小田桐良一（園田学園女子大学）

稲熊孝直（園田学園女子大学）

B1-3 コミュニケーションの上手さにおける会話者と観察者の認知の差

◎國栖壮馬（大阪大学・学部4年）

井奥智大（大阪大学・博士前期課程1年）

釘原直樹（大阪大学）

C1 プログラミングとデータ解析

会場 C(東2号館 2F 2203 教室) 座長:尾崎拓郎(大阪教育大学)

4日(土) 14:20-15:50

C1-1 運転データ解析のための可視化

○井村龍哉（大阪電気通信大学大学院・修士2年）

森本哲郎（大阪電気通信大学大学院・博士2年）

白濱勝太（大阪電気通信大学大学院・博士1年）

上善恒雄（大阪電気通信大学大学院）

C1-2 上腕機能リハビリ支援のゲーム開発

○翁長敬（大阪電気通信大学総合情報学研究科）

佐藤礼華（大阪電気通信大学）

C1-3 タブレット端末で利用可能な初学者向けプログラミング教材の指導書作成の検討

○長瀬雄貴（大阪教育大学大学院・修士課程1年）

尾崎拓郎（大阪教育大学）

C1-4 BYOD環境における初学者向けプログラミング教材の検討

○尾崎拓郎（大阪教育大学）

小関啓子（放送大学大学院・修士課程1年）

小野淳（千里金蘭大学）

白井美弥子（兵庫県立西宮今津高等学校）

田中美穂（株式会社アイティーエス）

仁木智晶（大阪電気通信大学高等学校）

西端律子（畿央大学）

3月5日(日) 10:00-11:30 一般研究発表 セッション2

B2 アクティブラーニング (2)

会場 B(東2号館 2F 2202 教室) 座長:寺尾聡(青山学院大学)

5日(日) 10:00-11:30

- B2-1 テキスト理解, 論点設定, 論述のスキルを高めるアクティブ・ラーニング
○寺尾敦(青山学院大学)
- B2-2 アクティブ・ラーニングの実践にかかわる課題の検討
～道徳や特別活動、プログラミングや情報モラルの教育に際して～
○波多野和彦(江戸川大学)
中村佐里(自由学園高等科)
三尾忠男(早稲田大学・教授)
- B2-3 情報リテラシー科目におけるアクティブラーニングの試み
○橋本はる美(摂南大学)
- B2-4 アクティブラーニング型初年次教育における Google Classroom の利用実践
○細江哲志(横浜商科大学)
遠山緑生(横浜商科大学)
田尻慎太郎(横浜商科大学)

C2 地域と協働

会場 C(東2号館 2F 2203 教室) 座長:西端律子(畿央大学)

5日(日) 10:00-11:30

- C2-1 協調学修において欠席者が挽回できる仕組みの設計と検証
○木村敦(日本大学)
- C2-2 地域と連携した学生主体のパソコン講習会
○館宜伸(金沢工業大学)

G2-3 共同開発現場の身体知移転におけるプロセスとメタ認知的言語化主体の考察
○ 亀井省吾（産業技術大学院大学）

G2-4 農業分野における IT 利用の実践
○ 新谷剛史（株式会社セカンドファクトリー／ブエナピンタ株式会社）

3月5日（日）13:10-14:40 一般研究発表 セッション3

B3 システムと教育

会場 B(東2号館2F 2202教室) 座長:山路進(江戸川大学)

5日(日) 13:10-14:40

B3-1 ストロー楽器づくりと指導法の開発 ～初等教育と幼児教育での実践に向けて～
○山路進（江戸川大学）
鈴木正章（文京区教育センター）
波多野和彦（江戸川大学）

B3-2 保存・修復・活用に向けた石碑アーカイブシステムの提案
○上相英之（神戸学院大学）
稲熊孝直（園田学園女子大学）
上相真之（SPRING-8）

B3-3 社会システム理論に基づく情報教育の教材開発
○大西洋（京都市立西京高校）
藤岡健史（京都市立西京高校）

B3-4 自己表現手段としてのプログラミングの活動事例
～作業療法としてのプログラミングの可能性と地域社会のノーマライゼーションに関する考察～
○ 原亮（街角プログラミングカフェ事務局）

C3 社会コミュニケーション (1)

会場 C(東2号館 2F 2203 教室) 座長:針尾大嗣(摂南大学)

5日(日) 13:10-14:40

- C3-1 キャスターはいかなる戦略を採るか —政治コミュニケーションによる質問の戦略性
○ 木下健 (早稲田大学)
- C3-2 テレビ通販における説得的コミュニケーションのための基本フレームワーク
SCALA モデルの提案
◎玉岡澄佳 (摂南大学・経営学部3年)
針尾大嗣 (摂南大学)
- C3-3 広告のメディア・プランニングを通して学ぶメディア・リテラシーの学習プログラムの開発と評価
○村井明日香 (桜美林大学)
堀田龍也 (東北大学大学院)
- C3-4 企業によるスクリーニングと学生によるシグナリングのファジィ情報モデル
○山下 洋史 (明治大学)
権善喜 (明治大学大学院・博士後期課程/日本学術振興会特別研究員 DC)

3月5日(日) 15:00-16:30 一般研究発表 セッション 4

B4 アクティブラーニング(3)

会場 B(東2号館 2F 2202 教室) 座長:栗山健(学研教育総合研究所)

5日(日) 15:00-16:30

- B4-1 PBL の活動継続に関する要因分析
◎高木良太(摂南大学・学部3年)
久保貞也(摂南大学・准教授)
- B4-2 千葉商科大学政策情報学部 アクティブ・ラーニングにおける実践
—市川市文学ミュージアム企画展 PR 活動を事例に
○吉羽一之 (千葉商科大学)

- B4-3 アクティブラーニング測定指標の検討
○井奥智大（大阪大学大学院・前期1年）
釘原直樹（大阪大学）
内田遼介（大阪大学大学院・後期4年）
- B4-4 アクティブ・ラーニングに関わる「課題・不安」と評価方法の選択に関する分析
○大塚恵理子（学研教育総合研究所）
劉東岳（学研教育総合研究所）
栗山健（学研教育総合研究所）
中尾紀子（内田洋行教育総合研究所）
井上信介（内田洋行教育総合研究所）
佐藤喜信（内田洋行教育総合研究所）

C4 社会コミュニケーション (2)

会場 C(東2号館2F 2203教室) 座長:友野典男(明治大学)

5日(日) 15:00-16:30

- C4-1 オンライン調査による感謝と不満の価値：日本の個人主義化の検討
○後藤晶（山梨英和大学）
- C4-2 時間の使い方が主観的幸福度に与える影響
○脇みどり（明治大学大学院・博士後期課程2年）
- C4-3 消費者のメニュー選択行動におけるネガティブ感情の影響
○権 善喜（明治大学大学院・博士後期課程／日本学術振興会特別研究員DC）
- C4-4 地域における健診データを利用した研究のためのコミュニケーションデザイン
○本田正美（島根大学戦略的研究推進センター）
中野邦彦（島根大学地域未来戦略センター）

IoT時代の新型無線LANソリューション

簡単につなぐ・強固に守る・容易に管理する



無線LANアクセスポイント
TQ4400/4600シリーズ

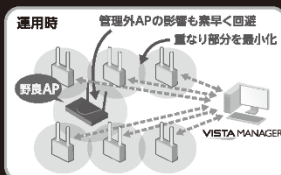
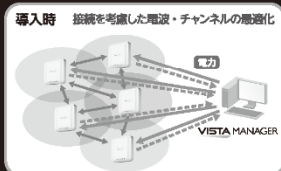


屋外無線LANアクセスポイント
TQ4400eシリーズ

つなぐ

電波出力・チャンネルを自動制御
最適な無線LAN環境を実現!

導入時・運用時・レイアウト変更時もうまく構築!
事前調査・設置・運用管理を大幅に軽減



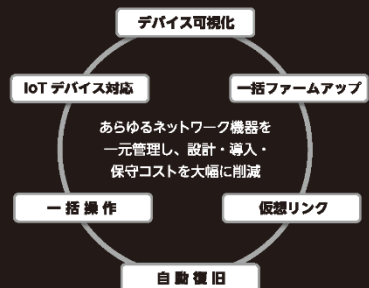
守る

従来の無線LANセキュリティ+
アプリ連携で強固に守る!



管理する

有線も無線もネットワーク機器から
IoTデバイスまで統合管理!



2014 優秀映像教材選奨 最優秀作品賞(文部科学大臣賞)受賞!

「ケータイ社会と情報モラル Vol.2」

NHK DVD教材

～スマートフォンの利便性と危険性～

DVD1枚(約30分収録)

定価 16,200 円 (本体 15,000 円+税)

指導用CD-ROM(板書例データ・指導上の留意点)1枚付

主な収録内容

導入

高校生インタビュー／スマホの利便性と利用率の急成長

スマホとトラブル

事例1(情報流出)／事例2(詐欺)／事例3(性犯罪)／事例4(問題行動の発信と炎上騒ぎ)

スマホとネット依存

ネット依存治療外来／つながり依存／利用者同士や家族でルールやマナーを考える

ルールとマナー

歩きスマホの実態／実験：歩きスマホでどのくらい視界は狭くなる？／公共の場などで気をつけること

トラブルから身を守る

トラブルや犯罪から青少年を守る社会の取り組み／自分の身は自分で守るためのポイント



発行：NHKエンタープライズ 企画協力・販売：実教出版株式会社

2017 事例でわかる 情報モラル

B5判／112ページ／定価540円(本体500円+税)

◎1テーマに2つの事例をマンガで紹介した情報モラルテキスト。

◎「ネット依存」について、生活への影響と注意点や「インターネット依存度テスト」を掲載しました。

※2017年3月発行予定



パーフェクトガイド情報 Office2016対応

B5判／192ページ／定価691円(本体640円+税)

◎例題・解説・類題を通し、コンピュータリテラシーを身につけられます。

◎リファレンスでは情報モラルも取り扱いました。

※2017年3月発行予定



授業力アップ アクティブ・ラーニング

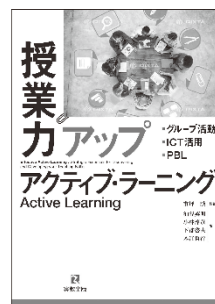
B5判／176ページ／価格2,160円(本体2,000円+税)

◎アクティブ・ラーニングを想定した授業において、どのように生徒たちが能力を伸ばせるようになるか、教員の授業力アップを実現する「教え方の指導書」です。

◎生徒の学習到達目標をふまえ、これに到達するための授業構造のあり方(モジュール)と教え方のアクティビティー(スキル)を解説しています。

◎グループ学習やICT活用、PBLといった授業において、具体的なモジュールとスキルのあり方を章立てて明示しています。

◎自分でフィードバック・セルフチェックできるだけだけでなく、組織的な評価が行えるよう、チェックシートの活用を提示し、教え方の更なる向上(PDCAサイクル)が可能です。



実教出版株式会社

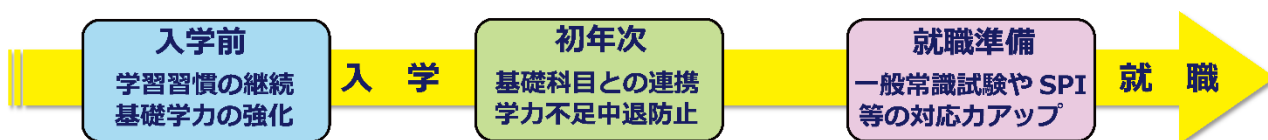
<http://www.jikkyo.co.jp>

〒102-8377 東京都千代田区五番町5

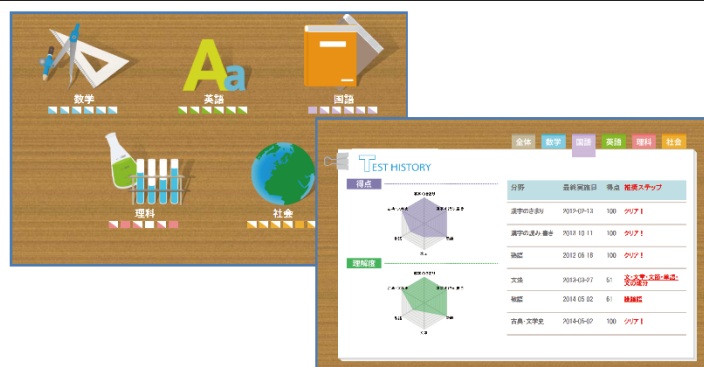
TEL: 03-3238-7777 Fax: 03-3238-7755

入学前から就職対策まで 「基礎学力の強化」は ラインズにお任せください。

eラーニングで入学前から就職までトータルサポート！

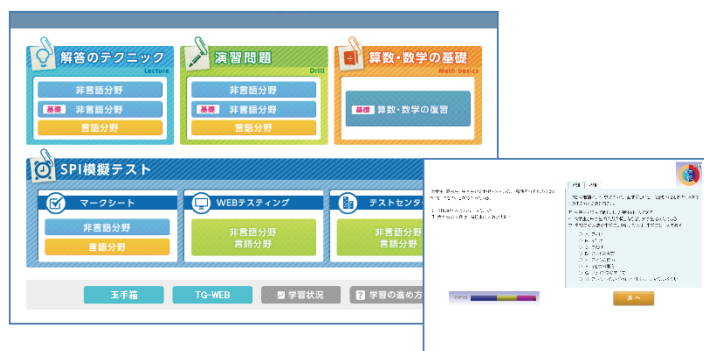


ラインズドリル リメディアル教育用 eラーニングサービス



5教科の基礎・基本を効率良く学び直せます。
「実力診断テスト」で学習者の理解度を判定。
PCだけでなく、各種スマートフォンや
タブレットに対応し、場所を選ばずご利用
いただけます。
入学前教育から初年次教育、就職対策まで
一貫して取り組めるeラーニングです。

ラインズSPI 基礎から学べる SPI 対策 eラーニング



SPIの各分野の模擬テスト14回分、演習問題
1,500問、全分野の解説教材を収録。
更に、非言語のSPI解説教材は、関連する数学
の基礎教材と連動し、不得意分野の基礎に
立ち返ってSPI対策ができます
テストセンター、WEBテストにも対応。
「玉手箱」「TG-WEB」の教材も新たに収録。

情報コミュニケーション学会 会員募集のお知らせ

情報コミュニケーション学会(Japan Association for Communication Information and Society)は情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて学際的に研究することを目的とし平成16年2月28日に設立されました。本学会は日本学術会議協力学術研究団体に指定されています。

情報コミュニケーション学会 設立趣意書

近年、世界的な規模でのグローバル化・情報化は、私たちの社会生活やライフスタイルに大きな変化を与えています。高度に発達した情報環境の中で、時間や距離を超え、さまざまな人種、文化、宗教、価値観などをもった人々が共存する豊かな共生社会の創造が望まれます。このような中、「情報コミュニケーション学会」は、情報通信ネットワークやコンピュータなどにより高度に情報化された社会におけるコミュニケーションについて、学際的に研究することを目的としております。コミュニケーションは、人と人、人と集団、集団と集団の間で生まれます。そこでの情報機器を介したコミュニケーションの働きや社会的役割、問題点などを解きほぐし、情報の収集・処理・発信・伝達など目的を持った主体的なコミュニケーションについても、研究していきたいと考えています。これらの取り組みにより、情報コミュニケーションという概念が、ひとつの新しい分野として確立できることを願っています。また、教育の現場においては、小学校からさまざまな場面でコンピュータが活用され、高等学校では情報を体系的に学ぶために教科情報が設置・実施されるようになりました。学校では先生方の熱心な取り組みにより、試行錯誤を繰り返し、悩みながら、問題を一つひとつ解決しているのが実情です。そこで、本学会は、情報コミュニケーションに関心のある小学校・中学校・高等学校・大学の教員が中心となり、情報交換・交流の場としての役割を果たし、実践的な研究をとおしてよい教育をおこなうための原動力になることも願っています。情報コミュニケーション学会については、平成15年2月8日、80名の賛同者を得て設立準備会を実施し、平成16年2月28日の設立総会で正式に発足の運びとなりました。情報コミュニケーション学会設立の趣旨に賛同いただき、多くの皆様にご入会いただきますようお願い申し上げます。

入会申込書はダウンロードできます。

<http://www.cis.gr.jp/nyuukai.html>

参考：2016年度の会費等 入会金 1,000円

年会費（正会員）7,000円（但し、幼・小・中・高校教員および教育委員会などの関係者は特別割引制度適応で3,000円）

年会費（学生会員：学部学生）1,000円

情報コミュニケーション学会 第14回全国大会実行委員会

大会実行委員長

- 万代勝信（一橋大学）

大会副実行委員長・大会実施責任者

- 高見澤秀幸（一橋大学）

大会実行委員・大会実施副責任者

- 垣東弘一（園田学園女子大学短期大学部）
- 佐藤万寿美（伊丹市立伊丹高等学校）

大会実行委員

- 有賀三夏（東北芸術工科大学）
- 栗山健（学研ホールディングス／学研教育総合研究所）
- 庄司一也（徳山大学）
- 田中克明（埼玉工業大学）
- 寺尾敦（青山学院大学）
- 友野典男（明治大学）
- 永谷研一（ネットマン）
- 西端律子（畿央大学）

学会事務局

- 小田桐良一（園田学園女子大学）

学会 Web 編集・更新担当

- 鴨谷真知子（東大阪大学短期大学部）

広告掲載および出展企業の皆さま（五十音順）

アライドテレシス株式会社	○○◎※ ¹
実教出版株式会社	○
ソニービジネスソリューション株式会社	◎
ライズ株式会社	○○◎

※1 会場の無線 LAN 環境をご提供いただきました。

○広告掲載 ◎デモ展示出展

情報コミュニケーション学会 第14回全国大会プログラム

発行日：2017年3月4日

発行者：情報コミュニケーション学会

事務局：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

園田学園女子大学 情報教育センター

E-mail：cis@sonoda-u.ac.jp

URL：http://www.cis.gr.jp/



情報コミュニケーション学会
会員募集中